

— “感動” が人をつくる —  
Culture  
Niigata



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —  
ソプラノ歌手 鈴木愛美

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —  
URAKATA 県を  
語る

Culture Niigata

2018.09-11  
vol.96

【平成30年8月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／昭栄印刷(株)



楽しさいっぱいの、  
夢をのせて。

# JAマイカーローン

耕そう、大地と地域の未来。

 JAバンク新潟県信連



NEXT STAGE  
-情熱の行方-

ソプラノ歌手  
鈴木愛美 Manami Suzuki

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回は長岡市出身の鈴木愛美さん。ソプラノ歌手として第一線で活躍しながら、5年前から新潟大学で教鞭も執っている。そんな鈴木さんにこれまでのことと今の思いを聞いた。

## 今は亡き父親が聴いていたCDから 流れる美しい歌声に惹かれて

—17歳から声楽を始めたそうですが、きっかけは？

幼い頃からピアノを習い、華やかな世界に憧れてクラシック・バレエも小4から習っていました。バレエは、美しい音楽の中に身を置いて踊る感覚が大好きでした。いざ大学への進学を考えはじめた高3の時に、ピアノの先生の親身で温かい勧めと、今は亡き父が聴いていた、CDから流れる美しい歌声に一瞬で心奪われ「ああ、これだ!」と感動して、歌の道に進みました。

—そして国立音楽大学へ。大学院へも進学されます。その頃にはもうソプラノ歌手になると覚悟していたのでしょうか。

少しずつ考えていたかもしれませんが、一度「いいなあ!」と思ったら、邁進するところがありまして(笑)。歌い手になれるかどうか未知数でしたが、まずはチャレンジしてみよう。そのためには、舞台経験やスキルが必要だと思いましたので、大学院へ進みました。当時の恩師の先生方が、オペラ歌手として舞台上で華やかに活躍されながら、大学でも熱心に教えられていた姿を見て「こんな風になりたいなあ!」と憧れました。今から考えると、節目節目で素晴らしい先生方との出会いに恵まれていたと思います。

—その後、新国立劇場のオペラ研修所の研修生に。年間5人しか採用しない狭き門を見事に突破されました。

運良く入らせて頂き、本当に良かったです。声楽や演技のレッスン、イタリア語・ドイツ語・英語などの歌唱に必要な語学、マナー、日本舞踊、何よりもたくさんの舞台経験を積ませて頂き、オペラ歌手として必要なことを3年間かけて学びました。そこから留学のチャンスも頂くことになりました。

## 留学経験でつかんだ 自分らしい音楽表現

—2008年からイタリア・ミラノへ留学されますね。

イタリアはオペラ発祥の地。実際に住んで、本場の声を「体感」してみたかったです。文化庁の在外派遣でミラノに1年間留学しました。まるで街全体が芸術作品のような世界に体の芯まで浸かりながら、レッスンに通う日々でした。イタリア人にとってオペラは暮らしに根付いた文化で、オペラの殿堂ミラノ・スカラ座では、朗々と歌い上げる本場の声に感動し、オーディションでは、世界中から集まる先鋭達のレベルの高さに、大変刺激を受けました。その後は、オペラだけでなく、歌曲や宗教曲もより専門的に学んでみたいと思うようになりました。



ウィーン楽友協会でのコンサート、終演後出演者とともに

—それで、それらを本格的に学ぶため、イタリアからウィーンへ移ったわけですね。

そうなんです。ウィーン国立音楽大学で研鑽しました。イタリアの明るくラテン的開放感と対照的で、ウィーンは、ハプスブルク家の厳粛な宮廷文化が息づいた街。オペラからオーケストラ公演まで世界最高水準の音楽が聴ける、まさに音楽の都でした。大学では歌曲の演奏スタイルを学びながら、シェーンブルン宮殿劇場でのオペラ公演や楽友協会でのコンサートなど、貴重な舞台経験もさせて頂きました。—イタリア、ウィーンにはそれぞれどれくらい留学されていたのですか？

イタリアに1年、ウィーンへは、日本での演奏会やオーディション等で、行ったり来たりしながら3年くらいでしょうか。朗々と歌い上げるイタリアの歌唱法だけでなく、歌曲・宗教曲のような美しく繊細さが求められる音楽表現へと、少しずつ視野が広がっていったように思います。

—留学中、大変だったことは？

レッスンの厳しさや、現地でのオーディションではアジア人は受かりにくいと聞いていたので、なんとなく覚悟して行ったつもりですが、特に、言葉と生活そのものを、ゼロから始めることが大変でした(笑)。その土地の風土、文化、価値観が日本とは全く違うので、戸惑ったり、心が折れそうになったことも正直何度もありました。その分、助けてくれる友人の温かみを感じたり、価値観を理解しようという気持ちが、新鮮な驚きや発見に繋がりました。これらは、自分の幅を広げてくれましたし、おかげで友人もたくさんできました。実際、オペラを演じる上でものすごく役立っているんです。喫茶店でエスプレッソを飲みながら交わす会話さえも、オペラのシーンに繋がり、本場の地で暮らした経験が舞台上で生きていることは、おそらく自分の想像以上にあると思います。

## ステージでは自分のパフォーマンスに集中

—鈴木さんの声の特色を言葉で表現すると？

声は高めで軽い、コロコロと音階を転がす、ソプラノ・コロラトゥーラ、又は、レジーエロです。オペラの役ですと『フィガロの結婚』に登場する女中スザンナ、『ドン・ジョヴァンニ』の村娘ツェルリーナなどがレパートリーです。娘役以外にも、ねじまき人形や子役なども結構合うんですよ(笑)。宗教曲では、フォーレ「レクイエム」や、ハイドン「天地創造」の天使ガブリエルやエヴァなどの、旋律が繊細で美しい楽曲のソリストにもお声がけ頂いたりします。

—ソプラノ歌手という仕事の魅力をどんなところに感じていらっしゃいますか？

そうですね、歌は自分自身が楽器であり、身体全体で表現できるのが魅力だと思います。オペラでは、歌唱と演技を伴った舞台性、自分とは違うキャラクターを演じる楽しみや面白さがあります。コンサートソリストでは、オーケストラと合唱と一体となって、美しい曲を歌い上げる高揚感があり、歌い終わった時はじわじわと感動します。

—歌手として大事にされていることはありますか？

声、音楽性、舞台性でしょうか。あとはなるべく風邪をひかないこと(笑)。ステージから華やかな歌手が登場したら素敵ですよ!これ目標ですが。お客様と、一体感のある空間を共有し、音楽を楽しんで頂けたらと思います。以前は、お客様に喜んで頂くために、何をしたら良いのかと考え過ぎてしまうところがありましたが、最近は、ベストのパフォーマンスができるよう、より自分自身に集中するように心がけています。

—現在、新潟大学教育学部で教鞭を執っておられます。

留学後は演奏を主にやりながら、4年前から大学でも教えさせて頂くようになりました。オペラや歌曲などの個人レッスンから、合唱や声楽アンサンブルなど、様々なスタイルでやっています。音楽の教員を目指す学生さんから、より声楽の道に進みたいと都



内や県内の大学院へ進学される方、声楽で一つのことをやり遂げる忍耐力を持って一般企業に就職される方、実に進路は様々です。いずれにしても皆さん熱心に授業に臨んで来ています。

#### —教育活動は楽しいですか？

大変やりがいがあります！大学の4年間は人生でも大切な時期、その一番の成長期に、学生さん達と歌を共有できることは、嬉しくも貴重なことだと思っています。やがて皆さんが活躍され、次の世代に歌を伝えていく、それらはこの先も歌の輪が広がっていくことだと思っています。それらに携わらせて頂けるのは、大変ありがたいことです。

#### —教えることで自身が成長しているということもあるのでしょうか。

演奏と教育活動のバランスを取るのとはそう簡単なことではありませんが、それぞれ見える世界が違いますし、どちらも今の私には大切に、必要なことだと思います。自分自身の音楽により深みを与えてくれると信じています。

#### —今後の予定を教えてください。

今年9月、初めてCDのレコーディングをします。今まで、留学先などでも大切に歌ってきた曲を収録するつもりです。2019年3月頃、発売予定です。今後の演奏会では、更なる自分の世界を開拓していけるよう前進していこうと思いますし、教育関係では、合唱や声楽コンクールの審査員等をさせて頂く機会も出てきて、活動が広がりがつありますので、益々勉強していこうと思います。

#### —今年11月4日(日)、長岡リリックホールでの公演「はじめてのオペラ」に出演されます。このコンサートの見どころ、聴きどころを教えてください。

モーツァルト作曲「魔笛」をはじめ、数々のオペラアリアの名曲をお届けします。シューベルト作曲の歌曲「魔王」も分かりやすく解説します。チラシに「4歳からご入場できます!!」とありますが、お子さんから大人まで十分楽しめる内容になっています。クラシックコンサートやオペラの入門にふさわしいコンサートですので、ぜひ多くの方々にご来場頂けましたら嬉しいです！

取材協力：(公財)長岡市芸術文化振興財団(長岡リリックホール内)

## 鈴木愛美

長岡市生まれ。長岡高校卒業、国立音楽大学声楽科及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所7期修了。文化庁新進芸術家海外研修員としてミラノに留学。ローム・ミュージックファンデーションの助成にて、ウィーン国立音楽大学大学院歌曲科を最優秀成績で修了。第26回飯塚新人音楽コンクール大賞、文部科学大臣賞、朝日新聞社賞などを受賞。現在オペラやコンサートで活躍中。新潟大学音楽科専任講師。二期会会員。2019年3月頃、オクタヴィアレコードから初のCDアルバムをリリース予定。



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 オルファ「カルミナ・ブラーナ」ソプラノソロ (指揮：宮本文昭、ティアラこうとう大ホール) ©日経WEB



2017年度新潟大学鈴木愛美声楽研究室一同

## Question & Answer

### Q. 休日の過ごし方は？

カフェで読書したり、友人と会ったりしてリラックスして過ごしています。時間があれば、旅行に出ることも多いです。

### Q. ハマっているものは？

もともと体を動かすのが好きで、最近はウォーキングにはまっています。

### Q. 好きな音楽は？

何でも聴きます！洋楽もJ-POPも好きです。疲れを癒やしたいときは、ウィーンのワルツを聴くと元気が出たりします(笑)。

### Q. 好きな映画や絵画は？

映画も絵画の鑑賞も好きです。今でも時折、レッスンを受けにウィーンへ行くことがあります。合間を縫って美術館へ寄ったり、オペラやコンサートを観に行ったりしています。

### Q. ご自身の性格を自己分析すると？

好奇心旺盛でしょうか。素敵な人や出来事に会おうとすぐに感化されますし、感動してしまいます。反面、いたってのんびり屋の面もあるかもです。



### 公演情報

合唱団にいがた結成25周年記念コンサート  
9月9日(日)新潟県民会館大ホール

妙高文化ホール開館35周年記念 One Coin Concert2018  
9月17日(月・祝)妙高市文化ホールホワイエB

「広い河の岸辺」平和コンサート  
9月28日(金)伝統文化伝承館

「はじめてのオペラ」  
11月4日(日)長岡リリックホール コンサートホール ※詳しくはP10をご覧ください。

オペラガラコンサート～秋を彩る極上のオペラガラコンサート～  
11月16日(金)所沢市民文化センターミュージズ アークホール

高田木曜会合唱団第65回記念演奏会  
11月18日(日)上越文化会館大ホール

# 新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。会場に足を踏み入ると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

次号vol.97は、11月下旬発行予定です。10/8(月・祝)までに、12月～2月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。

※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可場合があります。☺️【託児あり】の公演には託児室を設置します。(要予約)詳細については、各問い合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

## コンサート

長岡開府400年記念事業  
アフィニス夏の音楽祭 長岡特別演奏会

8/28(火) 19:00 長岡リリックホール コンサートホール

室内楽の祭典「アフィニス夏の音楽祭」で磨き上げられた珠玉のアンサンブルを出演者のトークとともにお贈りいたします。

出演:川崎洋介(ヴァイオリン)、高和雅(ヴァイオリン)、太田玲奈(ヴィオラ)、石原まり(チェロ)、居福健太郎(ピアノ)

特別出演:長岡少年少女合唱団、リリック・ジュニア・アンサンブル  
曲目:ドヴォルザーク/ピアノ五重奏曲イ長調 op.81 B.155 他



料 金 全席自由 一般 1,500円 高校生以下 500円  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

【主催】長岡市、(公財)長岡市芸術文化振興財団、(公財)アフィニス文化財団

## 

Myoko Pavilion vol.3 現代演劇入門

9/9(日) 14:00 新井総合コミュニティセンター 大会議室

「座学 plus ONE」の構成で、舞台芸術の深淵な森の入り口へと誘うMyoko Pavilionシリーズ待望の第3弾。気鋭の演劇批評家・山崎健太と、国内外各地を舞台に活躍する藤原ちから・住吉山実里が多様化する現代演劇にフォーカスして、その魅力に徹底的に迫ります。

出演:山崎健太(早稲田大学演劇博物館/演劇研究・批評)、藤原ちから(BricolaQ主宰/批評家・アーティスト)、住吉山実里(アーティスト)

構成:1)山崎健太 入門講座「早わかり!現代日本演劇史」  
2)藤原ちから・住吉山実里『HONEYMOON!』試演 新作パフォーマンスの一部を、世界のどこよりも早く実験的に上演!  
3)山崎健太・藤原ちから 演劇ガチ対談!「自由自在なアート!多様化する現代演劇の魅力」



料 金 全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

## コンサート

サマー・ジャズ・フェスティバル@魚沼

9/9(日) 13:30 魚沼市小出郷文化会館

「サマージャズセミナー@魚沼」の受講者の演奏や小出高校吹奏楽部との共演や、国内外のジャズ・シーンを牽引する一流アーティストの講師陣による演奏をお楽しみください。

<第1部>ジャズセミナー受講者による演奏  
<第2部>魚沼Jazz Festival Orchestra with 小出高校吹奏楽部、講師演奏

出演:池田篤(サクソ)、井上智(ギター)、太田朱美(フルート)、椎名豊(ピアノ)、金子健(ベース)、高橋徹(ドラムス)、平賀マリカ(ボーカル)、サマージャズセミナー@魚沼受講者、小出高校吹奏楽部



料 金 全席自由 800円

お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

【主催】小出郷文化会館ジャズ実行委員会

## コンサート フランス音楽～現代から古代の響きへ～

9/9(日) 14:00

だいしホール

新潟出身のフルート奏者金子由香利と、ピアニストの石井佑輔、共にフランスで学び、活動してきた2人のデュオリサイタル。

出演:金子由香利(フルート)、石井佑輔(ピアノ)  
曲目:P.ブーレーズ/ソナチネ、C.ドビュッシー/プレリュード、A.ジョリヴェ/リノスの歌、H.デュティエ/ユ/ソナチネ 他



料 金 全席自由 一般 2,000円(当日200円増) 学生 500円

主 催 お問合せ デュオリサイタル実行委員会事務局 090-2240-9447



コンサート

### 村上市合併10周年記念 10thアルバムリリース「voice」 ふるさとコンサートin村上 笛人 本宮宏美

9/9(日) 14:00 村上市民ふれあいセンター

故郷に帰ってきた時のようなホッとしたやすらぎの音色で聴く人を包み込むフルート奏者 笛人(ふえびと)本宮宏美。自身2度目の村上市民ふれあいセンターでのコンサートは、ギター、ベース、パーカッションのバックバンドを従えたプレミアムなバージョン。一日だけの特別ステージを、ぜひご覧ください。  
出演:本宮宏美(フルート)、ash(ギター)、寺尾敬博(ベース)、坂井崇人(ギター)、Roku(パーカッション)



料金 全席自由 入場無料(要入場整理券)

お問合せ 村上市民ふれあいセンター 0254-52-0201

【主催】村上市



コンサート

助成事業

### ～室内楽の調べ～ マイオータムコンサート 2018

9/30(日) 16:00 魚沼市小出郷文化会館

ヴァイオリン、ピアノ、コントラバスのトリオで織り成す爽やかな秋の風のような音楽をお届けします。魚沼の昔語りとクラシックのコラボレーションに合唱も加わり、ステージを華やかに彩ります。どうぞご期待ください。

出演:河村典子(ヴァイオリン)、白土文雄(コントラバス)、志田梨花子(ピアノ)、遠藤カズ子(昔語り)  
合唱:笹舟混声合唱団 指揮:関雅美  
曲目:ヘンデル/ソナタ8番より、ベートーヴェン/トリオより、對島時男/五兵と雪女 他



料金 全席自由 一般 2,000円(当日500円増) 小・中・高校生 500円

主催 お問合せ うおめまマイオータムコンサート2018実行委員会 090-2023-8325(志田)

【主催】村上市



イベントなど

### 新潟県文化祭2018 第34回国民文化祭・にいがた2019 第19回全国障害者芸術・文化祭 にいがた大会 300日前イベント

11/11(日) 13:00 新潟県民会館 大ホール

来年秋に県内で開催される国内最大規模の文化の祭典「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」の開幕300日前のイベントを開催します。県内外で活躍するアーティストによる歌、演奏やダンスをお楽しみいただくとともに、国民文化祭や全国障害者芸術・文化祭を知っていただく良い機会となりますので、ご家族揃って足をお運びください。



料金 入場無料(要整理券)※要申込(9/19~10/19)

主催 お問合せ 新潟県文化振興課 025-280-5139

【主催】新潟県文化振興課



コンサート

### 伊藤舞 ソプラノヴォーカルコンサート

11/11(日) 14:00 だいしホール

胎内市在住のソプラノ歌手、伊藤舞のヴォーカルコンサート。ピアノ奏者に品田真彦氏を迎え、新潟県内で活躍する二人がとっておきの歌を集めてみなさまにお届けします。

出演:伊藤舞(ソプラノ)、品田真彦(ピアノ)  
曲目:山田耕柝/からたちの花、富山珠美/「みずかみかすの詩」による歌曲、チレア/「アドリアーナ・ルクブルール」より 私は卑しいしもべ 他(予定)



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)

主催 お問合せ 伊藤舞コンサート実行委員会 090-1129-0628(佐藤)

【主催】伊藤舞コンサート実行委員会



イベントなど

助成事業

### たんねのあかり 2018

10/13(土) 13:30~21:00 柏崎市谷根(たんね)地区

「たんねのあかり」とは、2009年から始まった新潟県柏崎市谷根(たんね)で開催される夜の景観をあかりで演出するアートイベントです。2018年は7回目を迎えます。今年は谷根川を中心に数々のあかりが谷根地域を照らします。提灯行列もお楽しみに!

18:15 点灯式 19:30 大和舞 上演



料金 入場無料

主催 お問合せ たんねのあかり実行委員会 0257-26-2516

【主催】たんねのあかり実行委員会



コンサート

### CARROTS CONCERT 2018 村松吹奏楽団 51st演奏会

10/13(土) 19:00 村松公民館

五上市市の村松地区を中心に活動している村松吹奏楽団、第51回定期演奏会を開催します。今回第1部は難曲「亡き女王のためのパヴァーヌ」に挑戦!また、ユーフォニアム奏者の外山裕介氏を迎え、「ユー・レイズ・ミー・アップ」を奏てます。第2部は「お茶の間アニメ」特集!昭和から平成にかけてお茶の間を賑わした名作アニメのテーマ曲をメドレーで綴ります。ぜひ親子でお楽しみください。

ゲスト:外山裕介(ユーフォニアム)  
曲目:吹奏楽のための民謡、ルパン三世、ドラえもののうた 他



料金 全席自由 入場無料

主催 お問合せ 村松吹奏楽団 090-2204-6575(戸井田)

【主催】村松吹奏楽団



ミュージカル・演劇・舞踊



託児あり

助成事業

9月下旬発売予定

### NBAバレエ団×地域にバレエ・ダンスアートを育てる会コラボ公演 BALLET & DANCE ART CELEBRATION

11/23(金・祝) 14:30(予定) 長岡市立劇場 大ホール

NBAバレエ団と長岡市を中心とした地域で活躍するダンサー達の夢のコラボレーション。第1部はNBAバレエ団ダンサー&長岡出身のプロダンサーを交えた創作ダンス、第2部では華やかなプロジェクションマッピングが特徴の「くるみ割り人形」全幕を上演します。

<第1部>BALLET & DANCE ART SELECTION

<第2部>くるみ割り人形 全幕 他  
出演:NBAバレエ団、Kダンスアカデミー(地域にバレエ・ダンスアートを育てる会)、地域の小・中・高・社会人



料金 全席指定 SS席 6,800円 S席 5,800円 A席 4,800円 B席 2,800円 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 地域にバレエ・ダンスアートを育てる会 0258-33-5013(JFB+H+かむろ真鶴受付代理)

【主催】地域にバレエ・ダンスアートを育てる会



コンサート

### 第34回 ブルーノートジャズオーケストラ コンサート「映画音楽特集」

11/24(土) 18:30 長岡リリックホール コンサートホール

長岡に拠点を置く市民によって結成された本格派アマチュアバンド、BLUE NOTE Jazz Orchestra。34回目となる今回は「映画音楽特集」と題して、老若男女問わず楽しめる曲を用意しています。どうぞご期待ください。

出演:BLUE NOTE Jazz Orchestra  
曲目:シカゴメドレー、ロッキーのテーマ、星に願いを 他



料金 全席自由 一般 1,000円(当日200円増) 中学生以下 無料

お問合せ 音食(ねじき) 0258-36-7655(荒木)

【主催】ブルーノートジャズオーケストラ



イベントなど

助成事業

### 青春の群舞 第7回 早通フェスタ

10/20(土) 13:30 新潟市立早通中学校 体育館

ダンス・総踊りなど、新潟市北区内の小学生から社会人が出演。総勢260名のパフォーマンスをお楽しみください。

出演:早通南小学校生徒ダンスチーム、早中総踊り隊、敬和学園高「祈愛」、新潟医療福祉大学「舞桃会」「RIZE」「ダンス部」、社会人チーム「よさこい喜楽」「卯楽」「ギョット繋ごう・健康クラブ」他



料金 入場無料

主催 お問合せ 早通あすなろ会 080-1009-7937(伊藤)

【主催】早通あすなろ会



ミュージカル・演劇・舞踊



託児あり

### 劇団四季「ソング&ダンス65」

10/20(土) 13:30 上越文化会館 大ホール

「キャッツ」「アラジン」「ライオンキング」「アンデルセン」などの、数々の名曲・名場面がぎっしり詰まった超人気シリーズです。



撮影:荒井健

料金 全席指定 S席 8,500円 学生 4,500円 A席 5,300円 学生 3,000円 B席 3,000円 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。3歳以上要チケット。

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

【主催】(公財)新潟県文化振興財団、上越文化会館



古典・伝統



託児あり

### 柏崎古典フェスティバル2018 アルフォーレ特選寄席 喬太郎・白鳥・談笑/ 落語バトル ゲスト:マギー司郎

11/25(日) 14:00 柏崎市文化会館アルフォーレ

落語新時代を牽引する柳家喬太郎、三遊亭白鳥、立川談笑による若手花形三人の会です。ゲストに演芸会の巨星おしゃべりマジックのマギー司郎が笑いと芸の華を添えてくれます。上質でトレンドな高座をお楽しみください。

出演:柳家喬太郎、三遊亭白鳥、立川談笑  
ゲスト:マギー司郎



料金 全席指定 3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

【主催】柏崎市文化会館アルフォーレ、古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会



古典・伝統



託児あり

### 鼓童「巡-MEGURU-」

11/30(金) 18:30 新潟県民会館 大ホール

秋から日本全国ツアーを開始する鼓童の新作「巡-MEGURU-」。鼓童入団後まもなく舞台の中心に立ち、演奏だけでなく作曲やアレンジなどでも才能を発揮してきた住吉佑太が初演出を担います。全曲新曲で挑む新作公演をどうぞお楽しみに。



写真:岡本隆史

料金 全席指定 S席 6,000円 A席 5,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

【主催】TeNYテレビ新潟、(公財)新潟市芸術文化振興財団

アールブリュット展 in 上越 4 助成事業

10/6(土)~10/12(金) 浄興寺  
10:00~16:00

全国の障がいのある方の表現作品を展示する「アールブリュット展」。上越のヒト・コト・モノを紡ぐ文化事業を目指して、高田の寺町を中心に展示や講座、ワークショップなどを開催します。障がいがあっても自分らしく生きていく作家たちの作品をぜひご覧ください。



「二十五菩薩御来迎図」(部分)

**関連イベント**  
みんなでわいわいアートな時間  
10/6(土)、7(日)、8(月・祝)  
各日 10:00~16:00 リフレリアホール  
参加無料

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	社会福祉法人 みんなでいきる 025-530-7264

メキシコ最高文化勲章・日本芸術大賞受賞  
太陽の画家 利根山光人 版画展

9/1(土)~10/28(日)  
佐渡版画村美術館

9:00~17:00 月曜休館(祝日の場合はその翌日)  
メキシコに通い詰め、その古代遺跡と衝撃的な出会いを果たした利根山光人氏。画家としての原点を追い求める長い道程となったことが評価され、メキシコで最高文化勲章を受章しました。一見版画とは思えない程の流れるような線、力強く厚みのある画面が特徴の利根山光人氏の真髄に触れてみませんか。



画家 利根山光人

料 金	一般 400円 小・中・高校生 200円
主 催 お問合せ	佐渡版画村美術館 0259-74-3931

北欧の陶芸家 リサ・ラーソン展  
暮らしを愛するすべての人へ

9/1(土)~11/11(日) 新潟市新津美術館  
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、11/5は開館

80歳を過ぎた今もなお創作を続けている北欧陶芸家リサ・ラーソン(1931-)。彼女が作るコケティッシュな動物や素朴で温かみのある表情豊かな作品は世界各国で人気を博しています。



「ネコのミア(大きな動物園シリーズ)」1990年(オリジナルは1966年) ©Lisa Larson/Alvaro Campo

**関連イベント**  
講座「京都を彩った日本画家たち」  
10/21(日) 13:30 聴講無料  
講師:横山秀樹(新潟市新津美術館館長)  
講座「工芸にみる動物のかたち」  
11/4(日) 13:30 聴講無料  
講師:奥村真名美(新潟市新津美術館学芸員)

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 700円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

祈り 斎藤順正展 -天空からの輝き-

9/8(土)~10/21(日) 弥彦の丘美術館  
9:00~16:30

ある御縁で新たに制作した二十五菩薩御来迎図と、これまでに制作した長岡火花を題材にした作品群。それぞれの作品に共通するテーマである「祈り」、そして「天空からの輝き」の世界を表現した作品を展開します。



「二十五菩薩御来迎図」(部分)

**関連イベント**  
ギャラリートーク  
9/22(土)、  
10/8(月・祝)、  
10/14(日)

料 金	一般 300円 小・中学生 150円 未就学児 無料
お問合せ	弥彦の丘美術館 0256-94-4875

【主催】弥彦村、弥彦村教育委員会、弥彦の丘美術館

長岡開府400年・NST開局50周年記念  
徳川の栄華 -徳川家、日光東照宮、牧野家ゆかりの名品-

9/15(土)~11/4(日) 新潟県立歴史博物館  
9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

二度の大坂の役を経て、徳川氏による天下の平定がなされました。江戸幕府初代将軍にあたる徳川家康は神格化され、日光東照宮に祀られ、その威光は全国に浸透していきます。徳川家の譜代であった牧野氏が越後長岡藩に入封してから400年。徳川家と牧野家の関係を探ります。



東照大権現堂壁画(徳川記念財団)

**関連イベント**  
記念講演会「徳川の栄華」  
9/15(土) 13:30 定員150名 要申込  
講師:徳川恒孝氏(徳川宗家第18代当主、(公財)徳川記念財団理事長)  
記念講演会「三河武士の活躍と徳川氏 ~牧野氏の活躍を見る~」  
10/14(日) 13:30 定員150名 要申込  
講師:谷口央氏(首都大学東京 都市教養学部教授)

料 金	一般 1,020円 高校・大学生 700円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

日本近代化のパイオニア 現代情報社会の先達  
-前島密・大橋佐平・大橋新太郎・坪谷善四郎・市島謙吉-

9/14(金)~11/11(日) にいがた文化の記憶館  
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 月曜、10/9休館 ただし、10/8は開館

明治維新後、日本は西欧の制度や文化を採り入れ、近代化を推し進めました。本展ではインターネット検索などに象徴される現代情報化社会の基礎を築いたパイオニアたちを紹介します。



前島密肖像画像 郵政博物館提供

**関連イベント**  
講演会「情報化社会の先達-前島密・大橋佐平・大橋新太郎・坪谷善四郎・市島謙吉-」(仮題)  
10/28(日) 14:00 メディアシップ6F ナレッジルーム  
参加費 500円 要申込 (先着80名)  
講師:神林恒道(にいがた文化の記憶館館長)

料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料
お問合せ	にいがた文化の記憶館 025-250-7171

【主催】にいがた文化の記憶館、(公財)新潟県文化振興財団、新潟日报社

ミニチュアワンダーランド  
世界のドールハウス展

9/22(土)~11/18(日) 長岡市栃尾美術館  
9:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜、10/9休館 ただし、9/24、10/8は開館

隅々まで精巧に縮小したドールハウスは、かつてヨーロッパの裕福な家庭の教育玩具として作られていましたが、現在では、世界中で鑑賞され、多くの人に親しまれています。時代背景に思いを巡らせながらドールハウスを楽しんでみてはいかがでしょうか。



トマスハーディの家 1998年 イギリス

**関連イベント**  
ギャラリートーク  
9/22(土) 11:00/14:00  
講師:新美康明氏(箱根ドールハウス美術館館長)  
ワークショップ「ねんどでつくるミニチュアのたべもの」  
10/21(日) 10:00/14:00 参加費300円  
各回定員10名 要申込(10/10~受付)

料 金	一般 600円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	長岡市栃尾美術館 0258-53-6300

フランス国立図書館版画コレクション  
ピカソ 版画をめぐる冒険

11/3(土・祝)~12/16(日) 新潟市美術館  
9:30~18:00 (券売は17:30まで) 月曜休館

20世紀を代表する芸術家パブロ・ピカソ(1881-1973)は、その生涯において版画だけでも2000点近く制作しました。その膨大な作品より、美術史上の巨匠に基づく作品や伝統的な主題を、ピカソならではの解釈と版画技法により制作した作品を紹介します。



**関連イベント**  
講演会「版画史から見る技法と表現 -デューラーからピカソまで」  
11/25(日) 14:00 先着100名  
講師:佐藤直樹氏(東京藝術大学美術学部准教授、元国立西洋美術館版画室室長)  
子ども講座「挑戦!ピカソっぽく描いてみよう」  
12/1(土) 13:30 要申込(11/12まで) ※詳細はホームページへ  
対象:小学生~中学生とその保護者(定員20名) 講師:新潟市美術館学芸員

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟市美術館 025-223-1622

追悼 山崎巖・小林順二 展  
~地域芸術をつないで~

9/29(土)~11/30(金) 星と森の詩美術館  
9:30~17:00 火曜休館(入館は16:30まで)

着物の産地、十日町で友禅作家として活躍した山崎巖(1938-2015)と、染織デザイナーとして活躍した小林順二(1940-2016)。それぞれの生業の傍ら、十日町市の美術界を牽引した2人の作家の追悼展を開催します。



山崎巖「金色の月にわらべが軍唄(小川真萩)」1998 手描き友禅

**関連イベント**  
「巖さん、順二さんを語る会」  
10/3(土) 14:00  
コーディネーター:藤巻秀正(彫刻家)

料 金	一般 500円 小・中学生 200円
お問合せ	星と森の詩美術館 025-752-7202

【主催】星と森の詩美術館、十日町市芸術協会

佐藤美紀 展 -触覚の世界-

10/27(土)~12/22(土) 胎内市美術館  
9:30~17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館

鋭い感性で、迷うことなく描き続ける作品は、見た瞬間に直接脳に触れてくる触覚の絵画ともいえます。今回はどんな世界に私たちを導いてくれるのか。どうぞ期待です。



佐藤美紀「2017-3」

**関連イベント**  
座談会「佐藤美紀の世界を語る」  
11/4(日) 10:30  
出演:佐藤美紀氏(作家本人)、  
岩本均氏(中之島美術館館長)、  
荒井直美氏(新潟市美術館学芸員)、  
大倉宏氏(美術評論家)、  
田中重夫氏(アートコレクター)  
酒井美通氏(gallery artbookchair主宰)

料 金	一般 300円 小・中学生 150円 未就学児 無料
主 催 お問合せ	胎内市美術館 0254-47-2288

ブランキングアート展2018 再生の芸術祭

9/21(金)~2/28(木)  
JR 燕三条駅観光物産センター「燕三条 Wing」  
10:00~18:30 12/30~1/11休館

製造工程で排出される事業排出物(ブランク材)を用いて、創意工夫により新しい作品に生まれ変わらせることで、「モノづくりの心と技」の表現を燕三条から発信します!この機会にぜひ、ご家族揃って足をお運びください。



料 金	入場無料
主 催 お問合せ	ブランキングアート展実行委員会 0256-36-4123

上越市立歴史博物館 オープン!

上越市立総合博物館が、今年7月に「上越市立歴史博物館」としてリニューアルオープンしました。常設展示「越後の都」を始め、無料開放のラウンジや屋上展望デッキなど、充実した設備でみなさんをお迎えします!

**開館時間** 9:00~17:00 月曜、年末年始休館  
※12月~3月は10:00~16:00  
**観覧料** 一般 500円 小・中・高校生 250円  
**施設** 1F:カフェ、ミュージアムショップ、ラウンジ  
2F:講堂・企画展示室、屋上展望デッキ  
**交通案内** 車:北陸自動車道「上越IC」から15分  
電車:高田駅から徒歩20分  
上越市本城町7-7(高田公園内)



**展覧会**  
特別公開 開館記念  
「徳川四天王 榊原康政の遺宝」  
9/17(月・祝)まで  
生誕150周年記念 川上善兵衛  
9/17(月・祝)まで  
高田藩と戊辰戦争 10/6(土)~12/2(日)



お問合せ	上越市立歴史博物館 025-524-3120
------	------------------------

# ～子どもとワクワクドキドキを～ 親子で楽しもう

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

## 新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』

9/23(日・祝) 14:00 新潟県民会館 大ホール  
「シンデレラ」の物語が小さなお子様にも楽しんでいただけるバレエになりました。本格的なクラシック・バレエとして振り付けられているので大人の方にも見ごたえ十分。

料金  
全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円  
バレエ初めて席 1,000円

※4歳未満入場不可、4歳以上要チケット

お問い合わせ

新潟県民会館 025-228-4481



シンデレラ / 細田千晶 (新国立劇場バレエ団 ソリスト)  
王子 / 奥村康祐 (新国立劇場バレエ団 プリンシパル)

【主催】新潟県、(公財)新潟県文化振興財団、(公財)新潟市芸術文化振興財団、平成30年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

## 劇団四季ファミリーミュージカル 『王様の耳はロバの耳』

9/30(日) 15:30 南魚沼市市民会館  
10/14(日) 15:30 糸魚川市市民会館  
わがままな性格からロバの耳に変えられてしまった王様と、その秘密を知った一人の床屋の物語。

料金  
全席指定 一般 3,500円  
高校生以下 2,000円

※3歳未満入場不可、3歳以上要チケット

お問い合わせ

南魚沼市市民会館 025-773-5500  
糸魚川市市民会館 025-552-5900



撮影:阿部章仁

【主催】新潟県、(公財)新潟県文化振興財団、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社(9/30)、糸魚川市(10/14)、平成30年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会

美術展・写真展

## みんなのレオ・レオーニ展

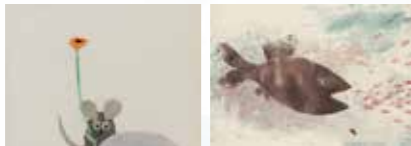
10/6(土)~12/16(日) 新潟県立万代島美術館  
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 10/15、10/29、11/12、11/26、12/10休館

教科書にも載る「スイミー」や「フレデリック」などの絵本で、日本でも親しまれているレオ・レオーニ。本展では、絵本の原画を中心に、油彩、彫刻、グラフィックデザインなどを併せて紹介し、その人生と創作に迫ります。

料金  
一般 1,100円  
高校・大学生 900円  
中学生以下 無料

主催・お問い合わせ

新潟県立万代島美術館  
025-290-6655



「スイミー」1963年  
Swimmy © 1963 by Leo Lionni,  
renewed 1991 / Pantheon On Loan By  
The Slovak National Gallery

「フレデリック」1967年  
Frederick © 1967, renewed 1995  
by Leo Lionni / Pantheon  
Works by Leo Lionni,  
On Loan By The Lionni Family

コンサート

## Concert for KIDS 0才からのクラシック®

11/25(日) 11:00 魚沼市小出郷文化会館  
未就学の小さなお子さまと一緒に入場できる約1時間の参加型コンサートです。  
出演:鶴木絵里(ソプラノ)、磯絵里子(ヴァイオリン)、加藤直明(トロンボーン)、  
新居由佳梨(ピアノ)

料金  
全席指定 一般 2,000円  
小・中学生 1,000円  
親子券 2,000円

※未就学児対象

(当日各500円増)

主催・お問い合わせ

魚沼市小出郷文化会館  
025-792-8811



平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

## 平成30年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

りゅーとびあ開館20周年記念  
ミュージカル『シャンポーの森で眠る』

10/19(金) 19:00・20(土) 13:00・21(日) 13:00

りゅーとびあ 劇場

りゅーとびあ開館20周年記念事業の集大成。ただ純粋に観客を魅了することを追求した奇跡のミュージカル、待望の再演!

原作:ジョルジュ・サンド「愛の妖精」  
脚本:菊池准 作詞:岡本おさみ  
作曲:音楽監督:宮川彬良 演出:戸中井三太  
出演:松村雄基、木村花代、オーディションで  
選考された新潟キャスト



料金  
全席指定 S席 4,500円 (高校生以下2,000円)  
A席 3,500円 (高校生以下1,500円) U25シート 2,500円  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

コンサート

託児あり

## はじめてのオペラ 「魔王」読み聴かせコンサート

11/4(日) 14:00 長岡リリックホール コンサートホール  
バリトン吉川健一と長岡市出身のソプラノ鈴木愛美による「魔王」読み聴かせコンサートや、童謡メドレー、音楽用語実演ショーなど盛り沢山。  
出演:吉川健一(バリトン)、鈴木愛美(ソプラノ)、石野真穂(ピアノ)



料金  
全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)  
※4歳未満入場不可、4歳以上要チケット

お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

古典・伝統

9/10(月) 発売開始

## 鼓童交流公演

11/11(日) 14:00 長岡市栃尾市市民会館  
太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気!  
出演:地代純、鶴見龍馬、渡辺健吾(新潟市出身)、三浦友恵、前田順康、  
三枝晴太、渡辺ちひろ



料金  
全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)  
※5歳未満入場不可、5歳以上要チケット

お問い合わせ 長岡市栃尾市市民会館 0258-52-2020

古典・伝統

## はじめての落語

10/20(土) 15:00 湯沢町公民館  
10/21(日) 14:00 西山ふるさと館

「笑点」でおなじみの林家三平と、新潟県出身の瀧川鯉橋による、『落語』がさらに面白くなる講座つき落語公演。  
出演:林家三平、瀧川鯉橋、  
林家はな平、春風亭一狼、  
稲葉千秋



料金  
全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)  
※未就学児入場不可

お問い合わせ 湯沢町公民館 025-784-2460 西山ふるさと館 0257-48-2839

コンサート

託児あり

## 池辺晋一郎 音楽の不思議 ～東京混声合唱団 柏崎特別演奏会～

11/10(土) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ  
古典から現代まで広範な合唱作品と作曲家池辺晋一郎の軽妙なトークと共に東京混声合唱団がお送りする公演。  
出演:池辺晋一郎、松井慶太(指揮)、  
永野光太郎(ピアノ)、東京混声合唱団



料金  
全席自由 2,000円  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ 柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010

コンサート

託児あり(11/18、12/1あり)

## 北区音楽文化の祭典

11/11(日) 10:30 <第1弾>北区音楽祭2018  
12/1(土) 14:00 <第4弾>第2回大谷康子とアンサンブルNORTH新潟

11/18(日) 14:00 <第2弾>北区フィルハーモニー管弦楽団  
【第8回ファミリーコンサート】

11/25(日) 13:30 <第3弾>北区伝統芸能文化の祭典(仮称)

新潟市北区文化会館 ホール

料金  
第1弾・第3弾 入場無料  
第2弾 全席自由 一般 1,000円(当日200円増)  
中学生以下 500円(当日100円増) ※4歳未満の入場はご遠慮ください。  
第4弾 全席自由 一般 3,800円 中学生以下 1,900円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

聖籠町町民会館開館30周年記念 チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院  
**日露交歓コンサート2018**

**10/2(火) 19:00 聖籠町文化会館**

ロシアン・ピアノのメッカ「チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院」等の一流の国際的音楽家がお届けする至極の旋律。地元せいろう少年少女合唱団とのコラボレーションもどうぞお楽しみください。

出演:キリル・ロディン(チェロ)、セルゲイ・ガラクチオーフ(ヴァイオリン)、オレグ・ボリヤンスキー(ピアノ)、フランチェスコ・チボレッタ(ピアノ)、レオニード・ボムスティン(テノール)、ナターリヤ・スクリャーピナ(ソプラノ)、ニキータ・ゴヴォロフ(バラライカ)

特別出演:せいろう少年少女合唱団

曲目:ロシア民謡メドレー、ブッチーニ/トウランドットより「誰も寝てはならぬ」、ショパン/エチュード Op.10-3「別れの曲」、デンツァ/フニクリ・フニクラ、ヴェルディ/椿姫より「乾杯の歌」他

料金 **入場無料(要整理券)** ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※整理券は1人4枚まで  
 お問い合わせ 聖籠町町民会館 0254-27-2121 (社会教育課) (公財)新潟県文化振興財団 025-228-3577

【主催】新潟県、(公財)新潟県文化振興財団、聖籠町、聖籠町教育委員会、(公社)国際音楽交流協会



**マイタウン・コンサート2018 9/1(土) 発売開始**

**9/28(金) 19:00**  
**さんぼく会館**

自由にきらめく箏の音色と爽快に駆け抜ける尺八の音色。ピアノとパーカッションも加わって、和と洋の垣根を超えたスペシャルコラボレーションをお楽しみください!

出演:薫風之音(箏、尺八)、川崎祥子(ピアノ)、藤島玲子(パーカッション)



料金 **全席自由 500円 高校生以下 無料**

お問い合わせ **さんぼく会館 0254-77-3798**

**ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 9/21(金) 発売開始**  
**ニューイヤー・コンサート2019**

2019  
**1/11(金) 19:00**  
**長岡市立劇場 大ホール**

2019年の新しい年明けにふさわしい、伝統と格式、躍動感にみちた本場のワルツをお楽しみ下さい。



料金 **全席指定 S席 8,300円 A席 6,200円** ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ **(公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715**

【主催】NST、新潟日報社、(公財)長岡市芸術文化振興財団、(公財)新潟県文化振興財団

**ご寄付をお願いします**

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」を年4回発行しています。



新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触れることのできる機会を提供します。



県内の文化団体等の事業を支援しています。

財団では、昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援させていただき事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。

今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただく寄付制度を創設致しました。何卒、財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

なお、財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

お問合せ **公益財団法人 新潟県文化振興財団 総務課**  
 TEL : 025-228-3700 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

**Culture Niigata**

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団  
 TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818  
 E-mail [jigyouniigata-bunka.jp](mailto:jigyouniigata-bunka.jp) WEB <http://www.niigata-bunka.jp>  
 Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

—シリーズ—

**URAKATA** **裏を語る**

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!



寄席囃子(落語芸術協会 囃子方)

**稲葉 千秋**

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第十三回目は「寄席囃子」の仕事について落語芸術協会囃子方に所属する稲葉千秋さんに話を聞いた。

落語家が高座に上がる時の音楽を担当する寄席囃子

テテンチントンシャン、ドンドドンー。落語家が高座に上がる時には、三味線と太鼓による「出囃子」が軽快に鳴り響く。落語家が退場する時、はたまた嗚の途中でも効果音として音楽が流れる。これらをまとめて「寄席囃子」。舞台袖で寄席囃子を演奏する人々を囃子方、お囃子、下座と呼んだりする。稲葉千秋さんはその一人である。

ふだんは新宿末広亭や浅草演芸ホールなどの寄席で活躍する稲葉さんが、この日は東京・府中の森芸術劇場にいた。とある落語会での演奏を務めるためだ。早めに会場に入り、太鼓と音合わせをしていた。

「出囃子は、落語家さんの芸風や好みによってそれぞれ決まった曲があるんです。まさにご自身のテーマソング。長唄を元にすることが多いですが、中には出身地にちなんだ曲や、現代曲をアレンジして自身の出囃子にされる落語家さんもいますね。落語通は出囃子を聴くだけで次に誰が出てくるのかわかるんですよ」

稲葉さんは、少なくとも自身が属する落語芸術協会の落語家たちの出囃子はすべて覚えている。

「今日のような落語会だと人数が少ないですが、寄席だと1公演につき、約18人の落語家さんが高座に上がるのでそのつど覚えようとしていたら全然間に合いません。出番の順番が急に変更になっても、臨機応変に対応できるほどでないとお囃子は務

まらないのです」

寄席では落語の他に太神楽曲芸や曲独楽、マジック、紙切りなど様々な芸が登場するが、これらのBGMとして囃子を演奏するのも稲葉さんたちの仕事。そこで大事になってくるのが演奏のテンポ、スピード感だ。

「演者さんも日によってテンポが変わったりするのですがそれに合わせながら演奏するようにしています。芸と音楽のリズムが合っていないとお客さんも違和感を持ってしまい、心地悪くなってしまいますからね」

ちなみに、寄席囃子の太鼓や鉦は落語家修行中の前座が担当する。三味線を担当する稲葉さんたちからすると毎回、一緒に演奏する前座が変わるうえ、太鼓初心者の若い人ばかりなので音を合わせるのも結構大変なのだという。

「でもあまり厳しく言わないようにしています。ガチガチに緊張している前座さんには、『リズムを刻んでくれたらこっちが合わせるから大丈夫だよ』と気持ちを落ち着かせて、励ますような言葉がけをします。言ってみれば、たったひとときでも同じ社中にいる、バンドメンバーですからね、互いに気持ち良く楽しく演奏できるような雰囲気づくりを心がけています」

お囃子の生演奏に一瞬で惹かれ、この道へ

今でこそ三味線を自在に扱い、どんな曲をも演奏してしまう



# 落語家の邪魔をしないよう 場を盛り上げるのが寄席囃子 見せ場では「ここで拍手〜!」と お客様に心で叫びながら演奏しています

公演前の音合わせの様子。府中の森芸術劇場 協力／(公財)府中文化振興財団

稲葉さんが、実はこの世界へ入る前は三味線を見たことも触ったこともなかった。

法政大学で勉強よりバンド活動に夢中の日々を過ごした稲葉さんは卒業後、当時両親が住んでいた茨城県内で就職。幼い時からお笑い好きだったのもあり、この頃からお笑いライブを観に行き始める。あるとき若手落語家たちが出演する深夜番組を観て刺激され、小さな落語会にも足繁く通うようになっていった。

その後、転職を機に再び上京し、それまで以上に落語会へ行くようになった矢先、運命的に「寄席囃子」に出会う。ある落語会でお囃子の人が、舞台の上で演奏を披露していたのだ。

「太神楽曲芸に併せて三味線を弾く女性の姿を夢中で見入ってしまいました。何よりもまずお囃子が録音テープでないことに驚きました。と同時に『面白そう、私もやってみたい』って思ってしまった(笑)」

その場で声をかけるのは難しかったため、稲葉さんは帰宅後、チラシに掲載されていた主催者に電話し、お囃子の女性を紹介してもらう。

「国立劇場で寄席囃子の養成をしているが、三味線が弾けなければ話にならないと親切に教えていただき、長唄の先生まで紹介してくださって、初めて三味線を習い始めました」

1年半後、国立劇場第9期寄席囃子研修生になるための試験を受け、合格。「この研修生の募集は2年に1度あるかないかというものだったので、技術的にはまだまだだったのですが、とにかく受けてみよう。この時まで20代だったのが良かった。寄席囃子を目指す人は30～40代が多いんです。おそらく

若いというだけで期待してもらえたんだと思います」

## 笑いと音楽 大好きなものが 共存したのが寄席囃子だった

勤めていた会社を辞めて入った養成所では、寄席囃子のほか、長唄・三味線、小唄、端唄、清元、鳴物、作法など学んだ。土日は休みだが平日は1コマ90分の授業が普通の学校のように組まれている。「とにかく覚えることが多くて大変だった」と言う。

「例えば、当時活躍している落語家さんの出囃子を全部弾けるようにするにはいけないので、1日2曲ペースで暗記しました。しかも、楽譜ではなく先生が弾くのを聞いて覚えるんです。ただ、もともとお笑いも音楽も大好きで、その2つが合体した仕事が寄席囃子だと思っていたのできつても全然平気でした」

研修所時代、決めていたことが2つある。一つは卒業するまで毎日必ず三味線を弾くこと。もう一つは当時の流行りの音楽や、自分が今までなじんでいた音楽をいっさい聴かないことだ。「長唄など日本の古くからの音階に慣れたかったので」。そうやって2年間頑張り続けて研修を修了した後、落語芸術協会へ入会する。

「関東では寄席をやっている落語芸術協会と落語協会のいずれかに属するのが慣例です。落語協会はお囃子は芸人として扱い芸名もあるのに対し、落語芸術協会は、あくまで裏方としての扱い。私は裏方としてやっていきたいと思ったので後者を選びました」

## 落語家が紡ぐ噺の世界の 空気を壊さない

すでにキャリア23年。これだけの経験を積み重ねてきた中で感じる寄席囃子の役割とは「芸の邪魔をしないこと」だと言い切る。

「落語家さんをはじめ演者の方々が自身の芸によって盛り上げた空気感を、絶対に囃子が壊すようなことがあってはならない。むしろ一緒になって盛り上げていくような演奏をしないといけないと思っています」

特に曲芸などに併せて演奏する際は、盛り上がりの場面になると「ここで拍手をお願い〜!!」と心でお客さんに叫びながら弾くようにしているとのこと。

「どうしても予算がないとカットされてしまうのが寄席囃子。代わりにCDがあるからです。でも、生身の人間が演奏するからこそその魅力があります。そこを落語家さんたちだけでなく、お客さんにも感じてもらえたらと思っています」

次号-シリーズ-URAKATAは舞台人形・美術製作にスポットをあてます。



寄席囃子(落語芸術協会 囃子方) 稲葉 千秋

栃木県足利市出身。法政大学文学部卒業。1993年4月から国立劇場第9期寄席囃子研修生となる。95年3月に研修終了、4月から公益財団法人落語芸術協会入会。現在、新宿末広亭、浅草演芸ホール等にてお囃子演奏中。国立劇場寄席囃子研修講師。趣味は韓国語、韓国民謡、ビリ、旅行。

### 「はじめての落語」公演を湯沢町、西山町(柏崎市)で開催!!

「笑点」でおなじみの林家三平と、新潟県出身の滝川鯉橋が出演する「はじめての落語」が10/20(土)湯沢町公民館と10/21(日)柏崎市西山ふるさと館で開催。「落語」がさらに面白くなる講座もあるので、落語初心者にはおすすめ。何と言っても今回、この落語会に稲葉千秋さんがお囃子として参加。彼女の軽快な三味線の演奏もぜひ一緒に楽しんで!「三平師匠はテレビでご活躍というもあり、落語初心者にも親近感のある落語家さん。鯉橋師匠は古典落語の世界を堪能するのにびったりの方。そういう意味ではとてもバランスの良い落語が楽しめる会になっています。私も舞台の袖で三味線を弾きながら、落語の邪魔にならないようにと心がけつつ盛り上げていきますのでぜひ足をお運びください」

※詳しくはP10をご覧ください。

